
秘密会議

カトラス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

秘密会議

【Nコード】

N7907G

【作者名】

カトラス

【あらすじ】

各国の代表は、世界大恐慌を目の当たりにして、解決せんと緊急招集していた。しかし、それは表向きの話であって……シヨートシヨートです。おちを楽しんでください。

ある国で、各国の代表者を緊急招集した会議が取り行われていた。今回の会議のテーマは世界中を巻き込んでる経済問題であった。つまるところ“大不況”をお互いに知恵をしばって打破しようとする主旨のものであった。

あくまで、表向きは……。

マスコミが集まる中、各国の代表者は会議で話し合われた経済対策を順々に特設ブースで報告する。

そして、それが終わると、人目を避けるようにして、また会議室に入室すると壁にある仕掛け扉の中に吸い込まれていくのだった。

「じゃ、そろそろ、化けの皮を剥がそうじゃないか。それと、ここからはヘブライ語で話そう」

そう言うと、会議のリーダーである黒い皮膚をした男の顔は見る見る溶け出して、恐ろしい形相の顔が現われた。同じようにして各国の代表者の顔も変貌を遂げ、肩からは翼や尻から尖った尻尾が飛び出した。

「いやいや、このたびのルシファー様の手腕はお見事でした。手下の悪魔を使って、世界中を大恐慌に落としいれたのですから……」
みんなから、ガーゴイルと呼ばれてる黄色い悪魔は得意のおべっかいを言った。

「まあ、少々やりすぎた感はあるがな」
ルシファーとほぼ同等の力を持つ、白い悪魔のベリアルが揚げ足をとるようなことを言う。

「いずれにしても、人間達がもがき苦しむ様子は愉快、愉快じゃないか。いきずまって自殺する奴が多く魂もたくさん集まるからな」

最近、仲間になった黒い油がたくさんとれる国の代表である蠅の化け物は実に楽しそうに話した。

「ところで、ルシファー様、今回の緊急召集されたわけは？」

舎弟でもあるガーゴイルの質問に咳払いを一度してルシファーが答える。

「実はな、我々の天敵である、アイツが間もなく復活すると諜報部員から報告があったんだ。アイツが復活したら俺達の命が危なくなる忌々しき事態になってしまうだろう。そこでだ、皆の魔力を集中させて奴の復活を防ごうじゃないか。それで肝心の作戦なのだがな……」

ルシファーの話を聞いて悪魔達は満足下である。

「それじゃ、決行は四月下旬で——上手くいけば、アイツはおろか人間達を大量に……イヒヒ」

ガーゴイルは手を叩いて喜んだ。

「もし、アイツが一回目で死んでくれたら、災いは秋ごろには魔力が増して、凄い結果をもたらしてくれるだろう。では、これにて会議を終了する」

悪魔達は再び、人間の顔に変身すると、なに食わぬ顔をして会議室から出ていった。

それから、半年後……。

各国のマスコミは大騒ぎしていた。

「今回のインフルエンザは毒性は低いものの……」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7907g/>

秘密会議

2010年10月10日06時59分発行